

山口県病院協会 会報

2025 **10月号** No.89

- 発行日 令和7年10月1日
- 発行所 一般社団法人山口県病院協会
〒753-0814 山口市吉敷下東三丁目1番1号
- 電話 083-923-3682
- FAX 083-923-3683
- 発行人 神徳 眞也
- 印刷所 大村印刷株式会社
- メールアドレス info@yha.or.jp
- ホームページ <http://www.yha.or.jp>



岩国市立美和病院

〒740-1225

住 所 岩国市美和町渋前1383番地1

電 話 0827-96-1155

FAX 0827-96-1157

URL : <https://miwahospital.org>

CONTENTS (目次)

会員病院紹介	2 ページ
協会役員コーナ	3 ページ
病院スタッフコーナー	4 ページ
医療経営講習会報告	5 ページ
医療懇話会報告	6 ページ
部会コーナー	6 ページ
諸会議報告	7 ページ
トピックスコーナー	7 ページ
お知らせコーナー	8 ページ

会員病院紹介

病院長挨拶 ～岩国市立美和病院～



岩国市立美和病院
病院長

むなかた ひろのり
宗像 緩宜

岩国市立美和病院は、1951年に開院して以来、美和地域における「医療の砦」として、地域の皆様の健康と安心を担ってまいりました。

急性期、回復期、慢性期、終末期と、昔から幅広い医療の段階において、役割を果たしてきました。また、外来、入院、在宅と、多彩な選択肢を地域の皆さんに提供し、最期まで地域で過ごしていただけるよう、日々研鑽しております。

当院は、ここ数年で大きな転換点を迎えております。

2020年に始まったコロナパンデミックにおける数年間は、通常の診療に加え、看護師の派遣や隔離解除後の患者の受け入れといった後方支援、コロナ患者の受け入れ、クラスター支援、オンライン診療支援など、刻一刻と変化する状況に柔軟に対応し、病院の医療資源を最大限活用できる方法を模索しながら、自分たちにできることを一つ一つこなし、職員一人一人が自らの役割を果たしてくれました。

2022年度からは訪問看護ステーションを新設し、在宅医療の強化を図りました。

2025年度には、老朽化に伴う病院新築移転を行いました。それを機に、今後数十年を見据えた病院のあり方を考え、一部の病床を地域包括ケア病床へと転換し、訪問看護ステーションを病院内に配置しました。

また、人口減・人材不足のなかでも、地域を支える続けることのできる、サステナブルな仕組みづくりのため、「やましろ架け橋プロジェクト」を山口県立総合医療センターへき地医療支援センターの支援を得て立ち上げました。これは孤立しがちな地域において、それぞれの分野の人材が連帯し、若手医師や看護師だけでなく、医療や介護、保健・福祉といった幅広い分野で地域を支えてくれる人材を育成するプロジェクトです。即効性のある方策ではありませんが、いつか芽生えることを信じて、種まきや水やりを続けていく所存です。

地域の皆さんと、地域を支え守っていくため、これからも岩国市立美和病院は、その役割を考え続け、サステナブルな医療を提供し続けたいと思っております。

〈病院の現状〉

1) 概要

名 称 岩国市立美和病院
開 設 者 岩国市長 福田 良彦
所 在 地 岩国市美和町洪前1383番地 1
病 院 長 宗像 緩宜
T E L 0827-96-1155
F A X 0827-96-1157
U R L <https://miwahospital.org/>
病 床 数 45床 うち地域包括ケア病床14床
診 療 科 内科、外科、小児科、整形外科、眼科、皮膚科

2) 沿革

昭和26年 4月 「坂上、賀見畑、秋中村の共立病院」として病床数（24床）で運営開始
昭和30年 4月 伝染病棟（17床）を併設
昭和31年 9月 町村合併により「美和町国保病院」と改称
昭和38年 4月 結核病棟（12床）を開設
昭和43年 4月 地方公営企業法適用
昭和47年 8月 鉄筋コンクリート2階建管理病棟建設、17床増床して（41床）とする
昭和51年 4月 病棟を増築し、29床増床して（70床）とする
昭和52年 3月 結核病棟（12床）を廃止する

昭和55年 3月 伝染病棟（17床）を廃止する
昭和58年 4月 「町立美和病院」と改称する
昭和62年 7月 訪問看護事業を開始する
平成元年 3月 産婦人科病棟を増築する
平成12年 9月 産婦人科を閉鎖する
平成12年12月 10床減床して（60床）とする
平成13年 4月 創立50周年を迎える
平成18年 3月 岩国市・近隣7町村と市町村合併して、「岩国市立美和病院」と改称
平成29年 1月 新美和病院あり方検討会発足
平成31年 3月 新病院基本構想策定
令和3年11月 8床減床して（52床）とする
令和4年1月 訪問看護ステーション開設
令和7年7月 新病院開院（45床）
令和7年8月 45床のうち14床を地域包括ケア病床に転換

3) 特徴

当院は、岩国市の北部地域の過疎地にある、唯一の病院となっています。以前から在宅医療に力を入れており、令和4年1月に訪問看護ステーションを開設しました。

新病院開設後も地域の「医療の砦」として住民の命を支え、最期まで地域で過ごせるように役割を果たせる病院を目指しております。

協会役員コーナー

待ったなしのAIの医療への活用



医療法人和同会
片倉病院
理事長

高橋 幹治

残暑お見舞い申し上げます。

一昨年、当法人の雇用者紹介料が9病院で計1億を超え、以降右肩上がり。そして今年度の2か月の推移をみると2億円を超える勢いである。簡単に紹介を使うなどの努力不足を何とかしないといけないが、これが当法人医業支出また社会保障費の増大の一因となっている。自分たちで対応を話し合っているところだが強力な解決法に着手できていない。

今では医療情報雑誌特集レベルの対応策をAI利用で簡単に示してくれる。“病院の人材採用・紹介会社を使わず雇用”でざっと7項目が重点事項や具体的社会資源利用法など織り交ぜ解かりやすく表示される。リファラル採用（職員紹介制度）なども盛り込まれている。当然誤認や間違いは除外しないといけない。

極めつけは最後にポイントとして、“採用難の医療職は「紹介会社頼みになりがち」ですが自院の魅力発信とネットワーク構築が鍵。採用コストを抑えるには「自前のチャンネル」を増やし、紹介会社は最後の手段とするべき”との言及。

今までは「自分で調べ考えない人や組織は自壊していく」が持論であった。現在は堅実な経営を続けていくのにAIの最大限有効利用が必要と感じている。

参議院議員通常選挙と現場からの支援活動を振り返って



玉木病院
病院長

玉木 英樹

7月の参議院選挙において、日本医師会推薦の、かまやちさとし先生が見事ご当選を果たされましたこと、謹んでお祝い申し上げます。今回の選挙は、「骨太の方針2025」において、経済・物価動向等による増加分を社会保障費に加算する方針が明記され、それを次期診療報酬改定に確実に反映させるという、医療界にとって極めて重要な局面でした。こうした基本方針を勝ち取られた医療団体執行部の皆様のご尽力に、心より敬意を表する次第です。現場の医療関係者が一丸となって支援活動に取り組めたことを大変誇らしく感じます。

また、私自身も萩市医師会選挙対策委員の一員として、地域における選挙活動に従事いたしました。思い起こせば、2002年に若手医師連盟会員研修会に初めて参加してから、20年以上活動を継続してまいりましたが、その歩みの中で、ようやく自分なりの選挙活動に対する姿勢を確立するに至ったと感じております。私の基本的な選挙活動に対する姿勢は、以下のとおりです。

- 1.（萩の吉田松陰先生を見習い）やるべきときには、全力で取り組むこと
- 2.（時期について）3年に一度、選挙期間の1か月間に集中すること
- 3.（活動内容は）ただひたすら、真摯に頭を下げること
- 4.（伝え方は）飾らず、シンプルに本音を語ること
- 5.（伝える相手は）職員・患者さん・そのご家族など、身近な方々であること
- 6.（目的について）実のところ、自分自身、そして自院のためであること

このような姿勢のもと、選挙活動を通じて日ごろ接する大切な方々と心を通わせ、将来について語り合うことができるのは、3年に一度のかけがえのない貴重な機会であると感じております。今後も、現場の声を政策に確実に届けるべく、誠実に、そして粘り強く活動を継続してまいります。

病院スタッフコーナー

多様な人材が支える温かな医療を目指して



医療法人緑山会
周南高原病院
看護部長

土居 朋美

昨今の医療介護の現場は、介護職員の不足が課題です。当院では、医療現場の多様性と質の向上を目指し、一昨年よりミャンマーからの特定技能者を積極的に受け入れて、現在14名のスタッフが在職しています。特定技能者とは、2019年に創設された「特定技能」という在留資格を持つ、日本で人手不足が深刻な特定産業分野における一定の専門性や技能を持ち、即戦力となる外国人材のことです。

しかし、日本語力は高いとはいえ受け入れ直後は文化の違いから業務指導に難渋しており、各々のスタッフ教育は手探りの状態でした。そこで、昨年度から特定技能者向けのプリセプター制度と教育マニュアルを独自に作成運用しました。その結果、特定技能者のみならず全スタッフの支え合いが強まり、介護職の離職率低下と満足度向上につながりました。今後は現在働いている特定技能者自身にプリセプターなどの役割を担ってもらい、既存スタッフとの架け橋になってくれることを期待しています。

また、このような取り組みも含めてSNSで情報発信し、SNS経由での採用活動なども行うことで、新規人材獲得にも力を入れています。

様々な分野で多様性が唱えられる時代の中、医療介護の現場スタッフにも多様な人材、多様な働き方を提供し、全スタッフが安心して働ける職場づくりに今後も努めてまいります。

薬剤師の役割と仲間の支えに感謝して



山口大学医学部附属病院
薬剤部
薬剤主任
薬剤師

原田 元

このたびは、山口県病院協会会報への寄稿の機会を賜り、心より御礼申し上げます。

近年、病院に勤務する薬剤師に求められる役割は年々広がっています。調剤業務にとどまらず、患者さん一人ひとりに対する薬物治療の最適化や安全管理、医師・看護師など他職種との連携、医薬品の管理など、多岐にわたる業務を担っています。その中で、専門性はもちろん、チームワークの重要性を強く実感しております。

薬剤師は、入院患者さんに対しては、服薬指導や副作用のモニタリングを通じて治療の安全を守るとともに、感染対策や抗菌薬の適正使用にも積極的にに関わり、医療の質向上に努めていかなければなりません。また、患者さんや他職種とのコミュニケーションを大切にし、正確な情報提供や適切な薬剤管理を行うことは、医療安全の土台となります。

こうした病院薬剤師としての日々の業務を長く続けられたのは、薬剤部の仲間、そして病院職員の皆様の温かいご協力と支えのおかげです。信頼関係と協力体制は、私たち薬剤師の成長、そしてより良い医療の提供につながっています。今後も、この感謝の気持ちを忘れず、専門知識の研鑽を重ね、地域医療の発展に尽力してまいります。

そのためにも、日々の経験から学びを得て成長し続ける姿勢を大切にしていきたいと考えております。今後とも、変わらぬご指導とご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

医療経営講習会報告

令和7年度 夏期医療経営講習会

令和7年8月9日（土）、山口グランドホテルにおいて夏期医療経営講習会を開催。講師には全日本病院協会の会長を4期務められ、今年度の改選で名誉会長に就任された猪口 雄二 先生をお招きし、55名が参加した。

演 題 「病院経営危機 ―新たな地域医療構想とは―」

講 師 公益社団法人全日本病院協会

名誉会長 猪口 雄二 氏



猪口 雄二 氏



講習会風景

～あなたご存じですか？あなたの街の病院がいま危機的状況なのを/地域医療はもう崩壊寸前です～



医療法人社団向陽会
阿知須同仁病院
理事長

西田 一也

猪口雄二先生は、（公社）全日本病院協会の会長として、今年になって2度にわたる記者会見で、日本医師会、各病院団体から、病院経営の窮状をつたえる共同声明に強力にかかわって来られました。このような働きかけから「経済財政運営と改革の基本方針2025」いわゆる骨太の改革において、医療介護等の経営の安定や現場で働く幅広い職種の方々の賃上げに確実につながるよう、高齢化による増加分に相当する伸びに、経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算するという文言が明記されるに至っております。

さらには、当初から携わって来られた地域医療構想の始まり（2016年）からの経緯と、2025年以降の展開について最新の情報をご提示いただきました。従来の病床の機能分化・連携から、入院医療だけでなく外来・在宅医療・介護との連携を含む医療提供体制全体の課題解決を図る地域医療構想へという方向性が打ち出されています。

当日は、真夏の線状降水帯発生が予想される週末でしたが、出席者一同、極めて有意義なご講演を拝聴することが出来ました。

医療懇話会報告

令和7年8月19日（火）午後4時より、かめ福オンプレイスにおいて、令和7年度医療懇話会が開催され、山口県健康福祉部からは石丸泰隆部長ほか計11名、山口県病院協会から神徳真也会長ほか計21名が出席した。

神徳会長ならびに石丸部長より挨拶がなされ、出席者の自己紹介が行われた。続いて、健康福祉部の各課長より、令和7年度の山口県健康福祉部の事業概要についての説明がなされた。

続いて協会側からの質問や意見要望が県へ伝えられ、各担当課長と積極的な意見交換がなされた。



神徳 真也 会長



石丸 泰隆 部長



懇話会風景

部会コーナー

令和7年度 山口県病院協会看護部長部会 総会および第1回研修会

令和7年9月17日（水）、セントコア山口において、令和7年度山口県病院協会看護部長部会の総会および第1回研修会が開催され、40名の参加があった。

総会では、部会運営規則の一部変更および役員の異動について報告された。引き続いて、下記のとおり研修が行われた。閉会後の意見交換会には21名が参加し、グループに分かれて研修内容についての掘り下げほか、様々な問題に関して意見交換を行った。

【総 会】 議題1 看護部長部会運営規則の一部変更について

議題2 看護部長部会役員の異動による補充選任について

〈役員名簿〉	部 会 長	大林 由美子	（山口赤十字病院 副院長・看護部長）
	副部会長	岩本 なお子 ^新	（山口県済生会豊浦病院 看護部長）
	常任幹事	上田 三千代 ^新	（厚南セントヒル病院 看護部長）
	常任幹事	安本 昌代 ^新	（山口県済生会山口総合病院 看護部長）
	常任幹事	前田 美貴 ^新	（光市立光総合病院 看護部長）
	常任幹事	浜 佳恵 ^新	（岩国市医療センター医師会病院 看護部長）

【研修会】

〈研修1〉「病院経営の観点でみる栄養摂取と排便管理について」

講師 ネスレ日本(株)ネスレヘルスサイエンスカンパニー第二支社中国支店 支店長 古屋 隼人 氏

〈研修2〉「適時調査における看護部門の注意事例解説について」

講師 中国四国厚生局 山口事務所 審査課長 内藤 久義 氏



大林部会長挨拶



ネスレ日本(株) 古屋 氏



中国四国厚生局 内藤 氏

諸会議報告

令和7年度 第2回理事会

日 時 令和7年7月9日（水）17:00～18:00

開催場所 山口グランドホテル

【承認事項】

- 各種後援等の依頼について
 - 「循環器病対策県民フォーラム・やまぐち健康生活フォーラム（やまぐち健康経営フォローアップ講習会）」の開催における共催について
 - 日本介護支援専門員協会 令和7年度中国ブロック研修会 第22回山口県ケアマネジメント研究大会への後援依頼について

【協議事項】

- 冬期医療経営講習会について
- 第29回四県病院協会連絡協議会（岡山）の提案議題について
- 令和8年度定時総会の開催日について

【報告事項】

- 県行政委員等の推薦について
 - 山口県医療審議会委員
会長 神徳 眞也（新任）
 - 山口県医療対策協議会委員
会長 神徳 眞也（新任）
 - 山口県医療対策協議会専門医制度部会委員
副会長 尾中 宇蘭（新任）

- 山口県献血推進協議会委員
副会長 郷良 秀典（新任）
- 山口県在宅医療推進協議会委員
常任理事 玉木 英樹（新任）
- 山口県看護職員確保対策協議会委員
常任理事 玉木 英樹（再任）
- 山口県公衆衛生協会評議員
常任理事 西田 一也（再任）
- 山口県死因究明等推薦協議会委員
理事 橋谷田 博（新任）
- 山口県医療費適正化推進協議会委員
理事 橋谷田 博（新任）

- 県各種委員会等の経過報告について
西田常任理事

- 令和7年度山口県公衆衛生協会第1回理事会・評議員会

【その他】

令和7年度 第2回情報管理委員会

日 時 令和7年9月10日（水）15:30～16:30

開催方法 Web開催（Zoom）

【協議事項】

- 10月号の発行について
- 新年号の発行準備について
- その他

トピックスコーナー

山口県医師会定例記者会見「医療機関の経営危機について」

令和7年8月28日（木）に行われた山口県医師会加藤会長の定例記者会見に、当協会の神徳会長が同席しました。山口県医師会による調査結果をもとに、医療機関の経営危機の現状と今後の対応について説明し、行政、関係機関および県民の皆様へご理解とご協力を呼びかけました。

「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン」および「やまぐちピンクリボン月間」

10月は「がん検診受診率向上に向けた集中キャンペーン月間」（厚生労働省）および「やまぐちピンクリボン月間」（山口県）です。山口県では、「やまぐち3070ピンクリボンキャンペーン」など、がん検診の重要性等の普及啓発等に取り組んでおりますので、地域住民の皆様にご理解とご協力を深めていただけるよう、ご協力お願いいたします。



「やまぐち3070ピンクリボンキャンペーン」
特設サイトQRコード



お知らせコーナー

山口県病院協会が共催・後援する集会等のお知らせ

【リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025やまぐち】

開催日時 令和7年10月18日（土）12：00～16：00

開催場所 山口県総合保健会館 多目的ホール

お問合せ先 リレー・フォー・ライフ・ジャパンやまぐち実行委員会 TEL：083-933-0008

【循環器病対策県民フォーラム・やまぐち健幸食生活フォーラム（やまぐち健康経営フォローアップ講習会）】

開催日時 令和7年10月25日（土）12：30～16：30

開催場所 YMfg維新セミナーパーク 講堂等

お問合せ先 山口県健康福祉部健康増進課 TEL：083-933-2950

【日本医療マネジメント学会 第24回山口県支部学術集会】

開催日時 令和7年11月15日（土）13：00～17：00

開催場所 山口労災病院 図書棟2階講堂

お問合せ先 山口労災病院 総務課 TEL：0836-83-2881

【日本介護支援専門員協会 令和7年度中国ブロック研修会 第22回山口県ケアマネジメント研究大会】

開催日時 令和7年12月6日（土）10：00～17：00

開催場所 YMfg維新セミナーパーク 講堂

お問合せ先 一般社団法人山口県日本介護支援専門員協会 TEL：083-976-4468



会員の異動、変更など

【会員の變更】

・萩市民病院

變更後

病院長 李 博文

變更前

病院長 米澤 文雄

【会員の異動】

・阿知須共立病院

病院長 三好 智之

病院長 三好 正規

病院協会の主な行事予定

○10月29日	事務長部会総会および第1回研修会	（会場：山口グランドホテル）
○1月10日	医療関係団体新年互礼会	（会場：かめ福オンプレイス）
○1月中旬	第3回理事会	（会場：未定）
○1月23日	四県病院協会連絡協議会	（会場：岡山県）
○1月30日	冬期医療経営講習会	（会場：山口グランドホテル）

編集後記

◆本号の編集にあたり、ご寄稿いただいた先生方、並びに協会活動を支えてくださる皆様に厚く御礼申し上げます◆県内の病院経営は、慢性的な人材不足に加え、人件費や物価の上昇に直面しており、その影響は多大であります。とりわけ診療報酬は、地域医療を支える私たちにとって生命線であり、十分な財源が確保されなければ、持続可能な医療提供体制の維持は困難となります◆折しも参議院選挙が終わり、総裁選が控えるなど政治の動きも注目されますが、国民皆保険制度を守り、適切な診療報酬体系の整備を強く期待するところです。本誌が会員の皆様にとって経営や診療の一助となれば幸いです。今後とも協会活動へのご理解とご支援をお願い申し上げます。（玉木 英樹）